



TICAD9
パートナー事業

成長著しく、21世紀最大のフロンティアと表現されるアフリカ。
日本は、アフリカを「共に成長するパートナー」と位置付けて『自立的な成長』を後押し、
一人ひとりが輝くアフリカを目指し、様々な取組みをアフリカと共に進めています。

岡三証券
OKASAN SECURITIES

Okasan SDGs Engagement

岡三SDGsトーク・イベント

2025年7月29日(火) 16時~17時

JICAと話そう！

国際協力

～アフリカから考える
新たな時代の実現のために
(オンラインライブ配信)

第一部

16:00~16:30
国際協力の重要性

～アフリカ農村開発

第二部

16:30~17:00

サステナブルファイナンスが創る未来

2025年7月29日(火) 16時~17時
オンラインライブ配信 (Zoomウェビナー)

申込みは
こちら



*お申込み後、受付完了メールをお送りいたします。
*トーク・イベント開始時刻になりましたら、
お申込み受付完了メールに記載のリンクをクリックして、ご参加ください。

岡三証券
OKASAN SECURITIES



お問合せ: 岡三証券株式会社 岡三SDGs企画事務局
E-Mail: f-akiyama@okasan.co.jp

岡三SDGsトーク・イベント

2025年7月29日(火)16時～17時

TICAD
YOKOHAMA
2025

Okasan SDGs Engagement

岡三証券
OKASAN SECURITIES

TICAD9パートナー事業

【登壇者・登壇団体紹介】



独立行政法人
国際協力機構
経済開発部次長
藤家 斉 氏



財務部長
鈴木 和哉 氏



財務部財務一課長
尾崎 理子 氏



国際協力機構JICAは、「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、「人間の安全保障」の理念に基づき、日本のODA事業を担う。世界の人口は80億人を超えた。人口増加率が高く、栄養不足人口が特に多いアフリカ地域では、深刻な食料危機に直面しており、「人間の安全保障」が脅かされている。JICAは、2023年、「JICAアフリカ食料安全保障イニシアティブ」を立ち上げ、食料安全保障の4つの視点①食料生産(Food Availability)、②農家の育成・民間農業開発(Food Access)、③栄養改善(Food Utilization)、④気候変動対策(Food Stability)から支援を実施している。

第9回目の開催を迎えるアフリカ開発会議(TICAD9)日本開催(横浜市)を8月に控え、テーマ債「アフリカ・TICADボンド」による資金調達(アフリカ向け有償資金協力)を予定している。

第一部

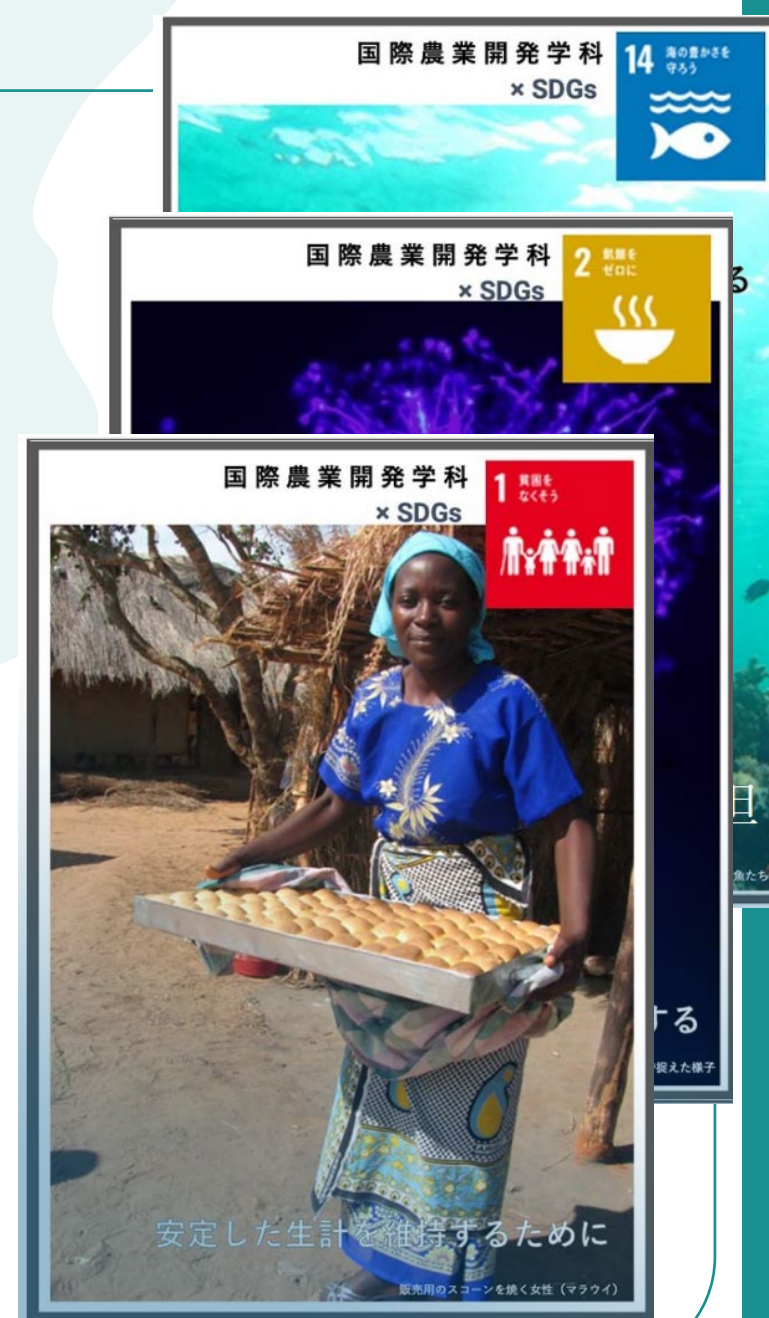
16:00～16:30 国際協力の重要性～アフリカ農村開発



東京農業大学
国際農業開発学科教授
高根 務 氏

東京農業大学は、1891年の創設以来、動植物全てに関わる総合科学を扱う大学として、生命、食料、環境、健康、エネルギー、地域再生に挑み、緑と生命を科学する大学として社会に貢献する人材を送り出す。

国際農業開発学科は、社会科学・自然科学の両面から国際農業を研究して農業生産技術の向上をはかり、国際開発協力をととして途上国に貢献できる道を探る。国内外での農業実習、海外協定校への留学、学内で行われる世界学生サミットなどへの参加など、異文化に接する機会を多様に設定。広い視野をもった農業開発の国際的専門家としての資質を養い、農業開発のプロの育成を目指す。国際感覚と農業開発の実践力を身につけた卒業生は、国際協力機関、国内外の食品・農業関連企業や研究機関、公務員、教員、農業など 多彩な分野において活躍の場を拡げる。



2025年7月29日(火) 16時～17時オンラインライブ配信

岡三証券
OKASAN SECURITIES



お問合せ: 岡三証券株式会社 岡三SDGs企画事務局
E-Mail: f-akiyama@okasan.co.jp



岡三SDGsトーク・イベント

2025年7月29日(火)16時～17時

岡三証券
OKASAN SECURITIES

Okasan SDGs Engagement

TICAD9パートナー事業

第二部

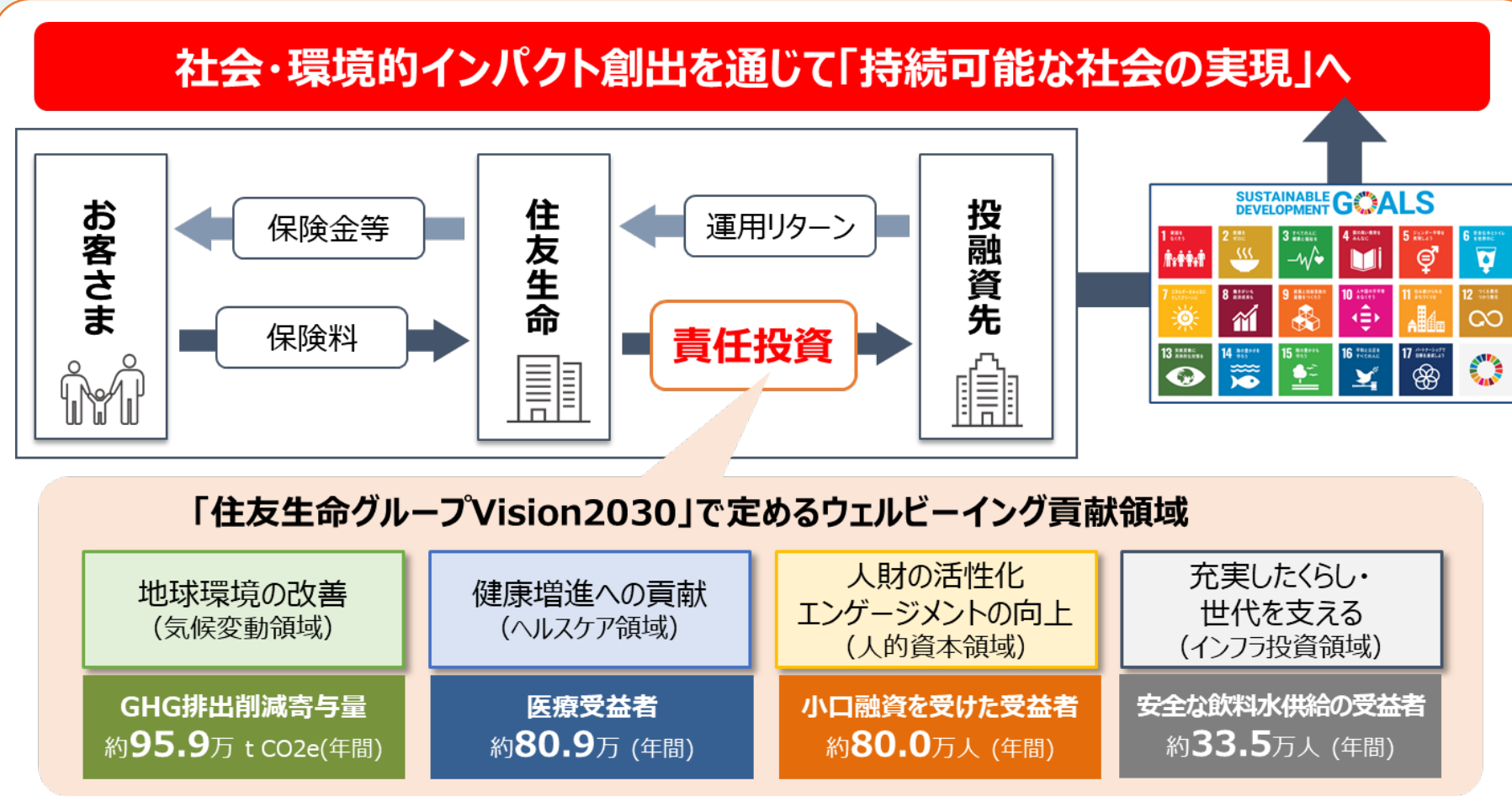
16:30～17:00 サステナブルファイナンスが創る未来



住友生命保険
運用企画部
責任投資推進部長
田中 淳一 氏

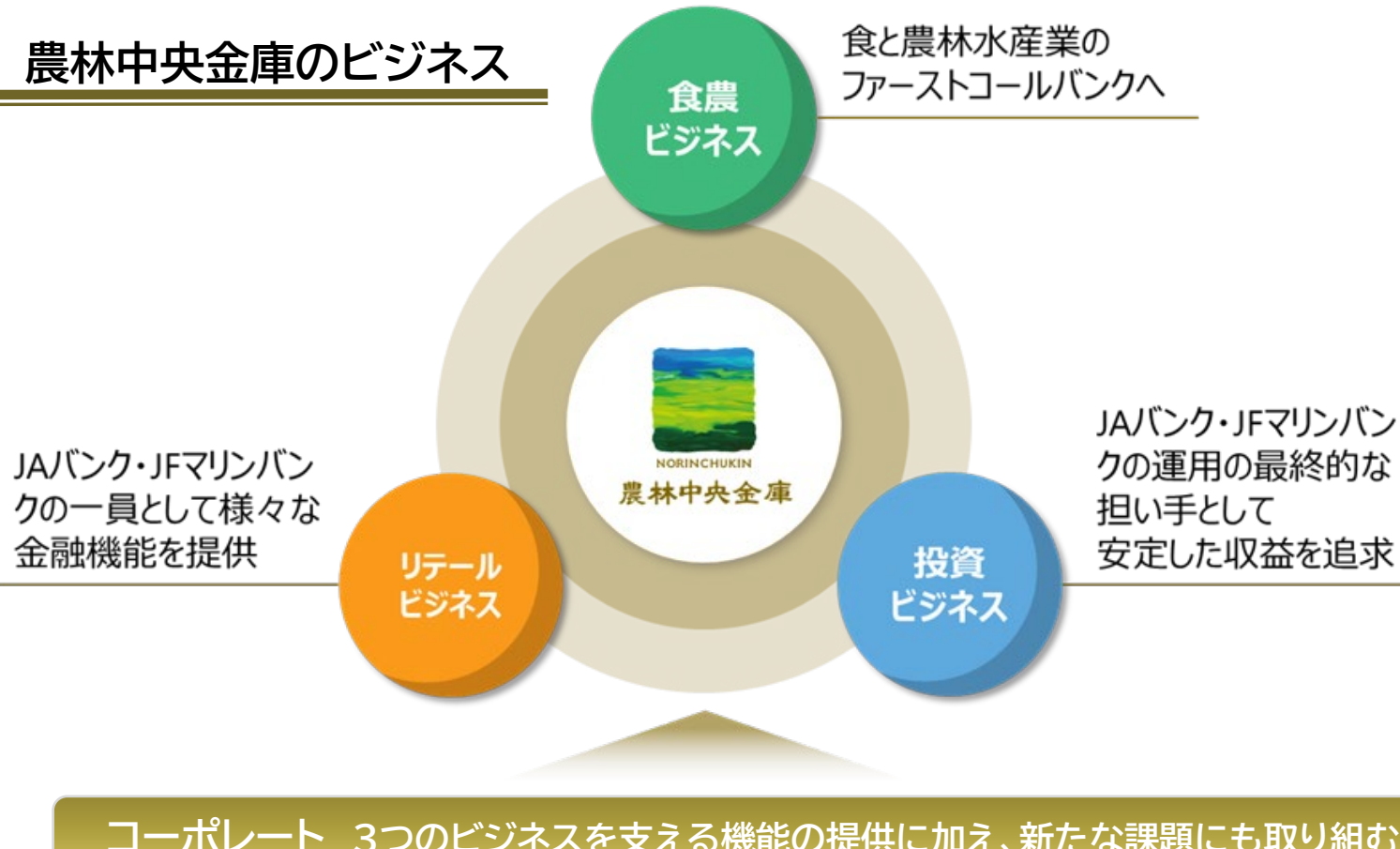
住友生命保険は、「社会公共の福祉に貢献する」というパーパスを掲げ、豊かで明るい健康長寿社会の実現に向けて、「一人ひとりのよりよく生きる＝ウェルビーイング」に貢献すべく、生命保険事業者および機関投資家の両面から取り組んでいる。

機関投資家として、中長期的に安定した運用収益の確保と、持続可能な社会の実現への貢献を目的として、サステナビリティを考慮した責任投資を推進。ファイナンス、投融資先企業との対話を通じて社会課題の解決に貢献していくことを目指している。



農林中央金庫
経営企画部部長
野田 治男 氏

農林中央金庫のビジネス



豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます～」をパーパスとして定め、国内外でのサステナブルファイナンスや投融資先・会員の皆様へのソリューション提供を通じて、持続可能な環境・社会の実現を目指す。

農林中央金庫は、1923年の設立以来、農林水産業者の協同組織を基盤とする全国金融機関として、農林水産業の発展に寄与し、もって国民経済に資するという重要な社会的役割を担っている。2021年には、「持てるすべてを「いのち」に向けて。～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、

イベント概要

本トークイベントでは、日本のODA事業を担うJICAと、各分野より専門家をお招きしてお話をうかがいます。第一部ではアフリカにおけるさまざまな課題を確認し、アフリカの「自立的な成長」実現を目指す取り組みを紹介。また、第二部では日本の技術と知見、そしてファイナンスの力を結集して国際協力と世界課題解決への最大効果を狙い、日本および国際社会の発展へとつながる道を探ります。

2025年7月29日(火) 16時～17時
オンラインライブ配信 (Zoomウェビナー)

申込みは
こちら

*お申込み後、受付完了メールをお送りいたします。
*トークイベント開始時刻になりましたら、
お申込み受付完了メールに記載のリンクをクリック
して、ご参加ください。

岡三証券
OKASAN SECURITIES



お問合せ: 岡三証券株式会社 岡三SDGs企画事務局
E-Mail: f-akiyama@okasan.co.jp